

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	クリエイター学科
専攻	デザイン専攻

授業科目	1年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員		
オープン実習	140	○	140	2
服飾造形	380			3
アパレル企画	40	○	40	4
服飾造形概論	20			5
パターンメイキング	40			6
ドレーピング	60	○	60	7
デザイン画B	60	○	60	8
服飾造形ワーク	100			10
キャリア開発	20	○	20	9
卒業制作	40			11
計	900		320	

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	14
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 (株)アングローバル プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス 人事部、(株)AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	38
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	鹿野 光子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	総合的なデザイン力を養い、イメージを具現化するための ハイレベルなパターン力、縫製技術を身につける
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ディテールソーイング6種(高級素材、特殊素材の知識と技術) ・サマースーツ制作(背抜き仕立てのジャケットとボトムの実物制作) ・卒業制作(3年間の集大成) ・自由作品(フォーマルウェア実物制作)

授業計画	前 期	4月	ディテールソーイング①
		5月	ディテールソーイング①② サマースーツ
		6月	ディテールソーイング③④ サマースーツ
		7月	ディテールソーイング④⑤ 企画作品
		8月	
		9月	ディテールソーイング⑤⑥ 卒業制作
	後 期	10月	
		11月	
		12月	▼
		1月	自由作品
		2月	▼
		3月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 実技20% 完成度50%

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	2
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	アパレル企画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	誰のために服を作るのか、どうしたら売れるのか？というファッションの原点からターゲット分析、雑誌分析、トレンド分析を行い、トレンド商品の提案を行う。OEM、ODMとの違いを理解する。		
授業の概要	<p>ライフスタイルの多様化により、ターゲットの細分化が進む、現在、何を提案するかを様々な角度から分析する。オリジナルブランドの企画。</p> <p style="background-color: yellow;">(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。</p>		
授業計画	前期	4月	ファッションマーケティングの手法を理解する 誰のために服を作るのか？多様化するターゲットを分析する
		5月	商品企画の基本ステップ 情報収集から、ブランドが出来るまでの流れを理解する。
		6月	商品企画のために必要な情報収集 2019SSコレクション情報からトレンドを知る
		7月	ファッションカレンダーと月別MDの基本 ショップリサーチとマトリックス分析からブランド位置づけを決定
		8月	ターゲット企画表の作成、ターゲットイメージマップの作成 2019SSの動向から、次シーズンに何を求めるのかを考える
		9月	オフィシャル・ソーシャル・プライベートにおけるファッション テーマ。テーマ別イメージマップとアイテム企画表。
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%</p>		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	2
科目名	服飾造形概論	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	門馬 よし子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	洋裁技術検定上級試験合格を目標とする。		
授業の概要	服飾造形概論、高級素材、特殊素材による理論とプロフェッショナルな縫製知識を習得。		
授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説①
		11月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説②
		12月	洋裁技術検定上級問題集使用 解答及び解説③ 洋裁技術検定上級模擬テスト①
		1月	洋裁技術検定上級模擬テスト②
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	パターンメイキング	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	門馬 よし子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	パターンメイキング検定2級試験合格を目標とする。		
授業の概要	アパレル業界に携わるプロフェッショナルなパターン及び組み立て方の技術を習得。		
授業計画	前期	4月	テーラードジャケットパターン引き
		5月	テーラードジャケット2級パターン引き① パターンメイキング2級理論テキスト使用 解答及び解説
		6月	テーラードジャケットシーチング実技半身頃組み立て①
		7月	テーラードジャケット2級パターン引き②
		8月	テーラードジャケットシーチング実技半身頃組み立て②
		9月	テーラードジャケット2級パターン及び シーチング実技半身頃組み立て③
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	6
科目名	ドレーピング	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	三浦 敬子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	各種雑誌、写真等から型紙をおこす。
授業の概要	立体的裁断を通じてシルエット & デザインを表現する。 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; margin-top: 10px;"> (株)さくら野、(株)ワンダールックにて婦人衣料部門デザイナーとして活躍した講師が担当する。 </div>

授業計画	前 期	4月	基本のボトムとトップス
		5月	デザインブラウス
		6月	ジャケット→型紙おこし
		7月	ジャケット
		8月	アンサンブル&スーツ
		9月	デザイン画からドレーピング
	後 期	10月	各自自由デザインからドレーピング
		11月	ドレスドレーピング
		12月	雑誌からドレーピング
		1月	各自デザインからドレーピング
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100%

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	6
科目名	デザイン画B	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	國行 一磨	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションデザイン画をポージングで下書きし、素材感が伝わるような塗り方が出来る様にしていく。		
授業の概要	デザイン画の企画、コンテストへの応募、塗りの全体指導と苦手分野の個別指導。 (例)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを企画、制作していた講師が、売れる店舗のVMD作りを教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業計画	前 期	4月	オリジナル商品企画と個別目標の指導
		5月	↓
		6月	↓
		7月	コンテスト作品制作と個別目標の指導
		8月	↓
		9月	↓
	後 期	10月	↓
		11月	↓
		12月	↓
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席20% 課題評価 30% 実技50%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	2
科目名	キャリア開発	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする		
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (株)ユニクロ、三越伊勢丹ホールディングス(株)にて人材育成を担当した教員が就職活動のノウハウを教授する。 </div>		
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	1
コース名	デザイン	単 位	10
科目名	服飾造形ワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は企業の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイメージーションを養う。卒業制作にむけて作品制作を行う。
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業制作の実物制作 ・ 企画書 ・ プレゼン準備 ・ フォーマルドレス制作

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	卒業制作 実物制作
		11月	卒業制作 実物制作・企画書、プレゼン準備
		12月	卒業制作 実物制作・企画書、プレゼン準備
		1月	フォーマルドレス制作（製図）
		2月	フォーマルドレス制作（縫製）
		3月	フォーマルドレス制作（完成）

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準： 出席率80% 授業態度20%

教育課程

学科名	クリエイター	履修年次	2
コース名	デザイン	単 位	4
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	鹿野 光子		(必修) 選択

授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%
------	---------------------------------------